

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	道路橋りょう維持管理事業			事業コード	1753
担当課等	所属名	玉山総合事務所 [玉山]建設課	担当係名		
	課長名	玉山総合事務所 建設課	担当者名	佐藤潤一	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	快適な居住環境の実現	コード 3
	基本事業	生活道路環境の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 8款 2項 2目 道路橋りょう維持管理事業 (001-01)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 **年度～)		
事務事業の概要	市道の維持管理として、舗装補修、一般維持工事、施設維持保守点検等を行う。					
根拠法令等	道路法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
一般交通の安全確保と沿道環境の維持を目的とした道路管理者が行う維持管理業務として開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
年々、道路管理延長が増加する中、補修(穴埋め等)で対応はしているが市民、自治会等からの要望が絶えない。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
厳しい財政状況により全ての要望への対応が困難であり、今後、計画的な改築や修繕を行う場合に緊急度や重要度を加味した選択が必要となる。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市道とその利用者。	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市道管理路線数	単位	路線
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 既存道路機能及び交通安全を確保する為、道路施設の補修、舗装補修(穴埋め補修等)及び清掃等を実施。  23年度計画(23年度に計画している主な活動) 既存道路機能及び交通安全を確保する為、道路施設の補修、舗装補修(穴埋め補修等)及び清掃等を実施。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 舗装補修予算措置対応面積	単位	m <sup>2</sup>
				B. 道路施設補修予算措置対応箇所数	単位	箇所
				C. 道路清掃予算措置延長	単位	km
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	一般交通の安全確保と沿道環境の維持。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 舗装補修実施面積 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	m <sup>2</sup>
				B. 道路施設補修実施箇所数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	箇所
				C. 道路清掃実施延長 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	km
⑦結果 (上位基本事業の意図・上位の基本事業にどのように貢献するか)	道路環境の向上が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市道改良率(単位:%) 市道除雪率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市道管理路線数	路線	320	320	330	330	330		年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	舗装補修予算措置対応面積	m <sup>2</sup>	1000	1000	1000	1000	1000		年度
活動 指標B	道路施設補修予算措置対応箇所数	箇所	30	30	30	30	30		年度
活動 指標C	道路清掃予算措置延長	km	31	31	31	31	31		年度
成果 指標A	舗装補修実施面積	m <sup>2</sup>	1000	1000	1000	1000	1000		年度
成果 指標B	道路施設補修実施箇所数	箇所	30	30	30	30	30		年度
成果 指標C	道路清掃実施延長	km	31	31	31	31	31		年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	35,051	32,461	34,116	35,666	37,173		*****
財源 内訳	④国	千円			6,000	6,000			*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	35,051	32,461	28,116	29,666	37,173	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	35,051	32,461	34,116	35,666	37,173		*****
	延べ業務時間数	時間	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000		*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	55,051	52,461	54,116	55,666	57,173	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 道路の安全かつ円滑な通行の確保に寄与している。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 道路管理者である市が実施すべき事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 盛岡市(玉山区)が管理する道路施設のみが対象であり、見直す余地はない。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 盛岡市が管理する道路施設のみを意図としており、見直す余地はない。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 道路管理延長の増加に対し、施設は老朽化しているが、施設の改修等の整備による予算確保により未然に事故防止、利用者の利便向上を図ることは出来る。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 影響がある	理由: 道路の安全かつ円滑な通行の確保が困難となり、多大な影響が生じる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 道路橋りょう維持管理事業(建設部)、県道の維持管理事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 各管理者(国・県)が管理する対象施設や管理の程度が異なり、玉山区内の農業用施設(農道)と共に効率的な維持管理を行っているため。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 安全性や耐久性を考慮して実施しており、これ以上の経費の削減は出来ない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 限られた事業費枠の為、直営作業によって補っており、改修整備に対応していくためには現状でも困難な状況である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 市道は公共性の高い施設のため。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 盛岡市所有の管理施設であり、特定の受益として費用負担する余地はない。

#### 4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  緊急度や重要度を加味して選択し、現状を維持する。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)                  引き続き事業費の確保を図る。</p>
---------	---

#### 5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>市道の安全な道路機能を確保するため、緊急性、重要性を考慮して、維持修繕等を行った。</p>
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <p> <input type="checkbox"/> 終了   <input checked="" type="checkbox"/> 継続              <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input type="checkbox"/> 廃止   <input type="checkbox"/> 休止              <input type="checkbox"/> 改革改善を行う                     <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>安全・安心な道路機能を確保するため、緊急度や重要度を加味して、維持修繕等を継続する。</p>	